



永田クラブ、経済研究会、国土交通記者会へ公表

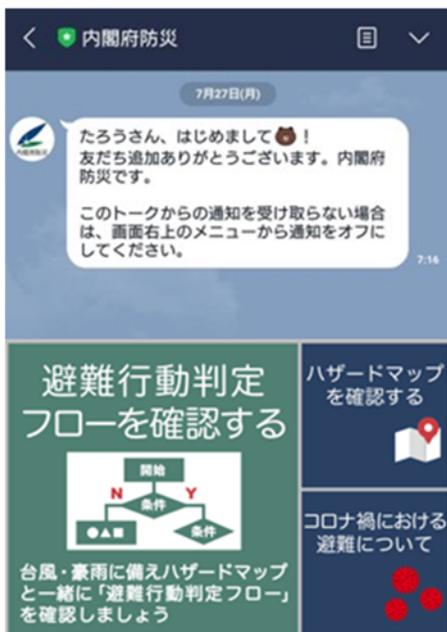
令和2年9月4日
内閣府（防災担当）

台風・豪雨時の「避難行動判定フロー」を、本日開設する LINE 公式アカウント「内閣府防災」で確認できるようになりました

「令和元年台風第19号等による災害からの避難に関するワーキンググループ（令和2年3月報告）」による提言を踏まえ、避難行動を促す普及啓発活動「避難の理解力向上キャンペーン」を令和2年出水期までに実施してきたところです。本キャンペーンの取組の一つとして、「避難行動判定フロー※（別添資料）」を作成し周知してきたところですが、この度、「避難行動判定フロー」を本日開設するLINE公式アカウント「内閣府防災」において確認できるようになりましたのでお知らせいたします。

台風シーズンが本格化してきていますので、「自らの命は自らが守る」意識をもち、平時からお住まいの地域の災害リスクととるべき行動を確認し、緊急時に適切な避難行動をとることができるようにしましょう。

※「避難行動判定フロー」とは、ハザードマップとあわせて確認することにより、地域の災害リスクや住宅の条件等を考慮したうえでとるべき避難行動や適切な避難先を判断できるようにしたフローです。



LINE 公式アカウント「内閣府防災」の画面イメージ

LINE 公式アカウント「内閣府防災」のQRコード



LINE 公式アカウント「内閣府防災」のLINE ID：@bosai

<本件問合せ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（調査・企画担当）付

菅、長野、大塚

電話：03-3501-5693（直通）

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取組みましょう

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保することも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう